

2024年度

S D

小論文

3月12日(火)

人文社会科学部 (経済学科)

10:00~11:30

【後期日程】

注意事項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、4ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(1枚(表裏))を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあけない。
- ・改行したら、最初の一マスをあける。
- ・句読点は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」はそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

以下の文章は、ウォルター・モズリイ『アントピア だれもが自由にしあわせを追求できる社会の見取り図』(共和国, 2022年)の一部を抜粋したものである。文章を読んで問1および問2に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

出典：ウォルター・モズリイ著 品川亮訳『アントピア だれもが自由にしあわせを追求できる社会の見取り図』、共和国、2022年、132～150頁。ただし、出題にあたって、縦書きを横書きにして原文にあった小見出し・注を省き、一部の漢数字を算用数字に置き換えた。

問 1 筆者の言う資本主義システムが社会主義システムに勝る点について250字以内で説明しなさい。(配点30%)

問 2 事業活動のさまざまな現場で機械化が図られ、労働者が直接に製造作業等をする機会が減少し、労働者の雇用が減少しています。これにより国家運営等の原資として期待される労働者からの所得税収が減少していきます。このような税収の減少に対していかに対処すべきかについて、本文を参考にしながらあなたの考えを600字以内で述べなさい。(配点70%)

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文(後期日程試験:令和6年度)	問題番号	SD
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部(経済学科)		
出題のねらい	<p>問1 問題文の内容を理解し、それを過不足なくコンパクトに要約する力を有しているか評価するための問題である。</p> <p>問2 広く社会的な関心を有し、自らの思考を論理的に展開し、表現できる能力を評価するための問題である。</p>		
採点基準 (点数は100点満点の場合)	<p>問1 配点30% (30点)</p> <p>①筆者の考える「資本主義システム」と「社会主義システム」の特徴を適切に理解しているか。</p> <p>②「勝る点」を的確に理解できているかを確認し、評価する。</p> <p>問2 配点70% (70点)</p> <p>① 筆者の考えを踏まえているか。</p> <p>1) 本文における「原価」と「労働サービス」と「利益」の関係を理解しているか。</p> <p>2) 機械に課税する理由について理解しているか。</p> <p>②自分の考えについて論理的に述べているか。</p> <p>③文章が十分な長さで書けているか。</p>		